

メルヘンハウス通信



暑中お見舞い
申し上げます



今月の和とく情報

半襟のいろは



衿元を美しく見せるといふ風俗は古くからあり、平安時代の後期、11世紀に成立した「女房装束」にすでに始まっています。襲着(かさねぎ)によって生まれる「襲色目」の美しさは衿元、袖口、裾に見られます。この伝統は「小袖」が主体性をもつようになってからも受け継がれ、16世紀初めの著作になる武家の公私の心得などを記した『宗五大草紙』には、「三ツえりに物を着候事、児、若衆など、えりを色えて、うつくしく見せ候はんためにて候・・・」と述べられています。



これからの和とくポイント

四季を楽しむ

四季の半衿・季節を楽しむ半衿。詩的な表現が似合う半衿では、四季の移ろいに、装う人の遊び心や、個性的なイメージが彩りも鮮やかに表現されます。

🍉 「夏」 5月・6月・7月(8月)

ひとえの季節になると半衿も縞目の入った夏物になります。薄物になると紗や麻の半衿を穿きます。

夏の風物詩や草花をあらわした半衿が涼しさを誘う夏ならではの装いでお洒落になります。

🌙 「秋」 8月・9月・10月(11月)

秋は婚礼や祝典など華やかな行事がキモノの姿を彩ります。薫り高く菊が咲き、木々は紅葉し、実りの季節に秋の華やぎを見せます。

季節に先駆けた半衿を身に付ける心掛けもお洒落に通じます。

🌨️ 「冬」 11月・12月・1月(2月)

クリスマスやお正月、初釜、節分と行事の多い季節。時の移り変わりを感じながら、気持ちは温かく高揚してゆきます。着る人のセンスや半衿のインパクトで個性が光ります。

🌸 「春」 2月・3月・4月(5月)

春は桜。桜にさまざまな思いを託してきた美意識が半衿にも反映されています。およばれの席でも、着る人のお人柄がうかがえ、半衿ひとつで春を語れるお洒落の楽しさがあります。

今日もきもの気分

やしま呉服店からのお知らせ

🌸 8月の催事・イベント 🌸



🌸 カルチャー 🌸

◎ポーセラーツ教室・・・22日(木)
クラフトカゴ&バッグ作りもしています♪



🌸 お盆休み 🌸

14日(休) 15日(木) 16日(金)
※各詳細のお問い合わせはお店まで
◎HP: <http://www.yashima-gofuku.co.jp/>

🌸 さくらきもの学院 🌸

◎たくみの会・・・8月11日(日)
おわら女踊り体験
津沢「魚政亭」夕食会



◎HP: <http://jtti.jp/sakurawasou/>
◎Fb: <https://www.facebook.com/sakurawasou/>

🌸 レッスンのお申込受付ます♪
・マンツーマンレッスン: 初等科 6回
・1dayレッスン: 500円/回
※ご希望日については藤森までφ(..)



お藤